

課題設定による先導的人文・社会科学研究推進事業（領域開拓プログラム）
課題設定型研究テーマ 研究概要

課題（研究領域）

行動・認知・神経科学の方法を用いた、人文学・社会科学の新たな展開

研究テーマ名

「社会価値」に関する規範的・倫理的判断のメカニズムとその認知・神経科学的基盤の解明

責任機関

国立大学法人東京大学

研究実施期間

平成26年10月～平成29年9月

研究プロジェクトチームの体制

氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者	
亀田 達也	東京大学・大学院人文社会系研究科・教授
分担者	
唐沢 かおり	東京大学・大学院人文社会系研究科・教授
犬飼 佳吾	大阪大学・社会経済研究所・講師
坂上 雅道	玉川大学・脳科学研究所・教授
樋口 さとみ	岩手医科大学・医学部・助教
小川 昭利	北海道大学・大学院文学研究科・PD 特別研究員
長谷川 晃	北海道大学・大学院法学研究科・教授
児玉 聡	京都大学・大学院文学研究科・准教授

配分（予定）額

（単位：円）

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
5,000,000	10,000,000	10,000,000	5,000,000

※平成27年度・平成28年度・29年度については予定額

研究目的の概要

富や権利の配分を含む「社会のあり方」に関する人間の倫理・価値判断がどのような行動・認知・神経科学的メカニズムにより支えられているのかについて、人文学・社会科学において蓄積されてきた規範的理論と、行動科学・脳科学を中心とする経験科学との対応関係を見据えながら、有機的な接合を図る。

研究計画の概要

法哲学者、倫理学者、心理学者、行動・実験経済学者、脳科学者、情報科学者が共同し、「社会価値の形成と維持・適用」に係る意思決定メカニズムを、規範理論的分析と行動・認知・神経科学の先端的研究手法を接合して解明し、人文学・社会科学における規範モデルとその実証的基盤の相互作用を明確化する視座を得る。